

- 2.2.1 個室管理とする。<sup>140</sup>(ⅢA)
- 2.2.2 個室が不足する場合は、病原体ごとにコホート隔離する。<sup>138</sup>(ⅢA)
- 2.2.3 コホート隔離をする場合は、患者間は 1m 以上開け、伝播を最小限にするためにカーテンで仕切る。(ⅢA)
- 2.3 医療従事者の感染防止対策
  - 2.3.1 患者と 1m 以内で接する時には、サージカルマスクを着用する。<sup>141</sup>(ⅢA)
- 2.4 病院内における患者移送
  - 2.4.1 必要時以外患者移送を制限する。(ⅢA)
  - 2.4.2 患者が病室外に出るときには、サージカルマスクを装着させる。(ⅢA)
  - 2.4.3 患者移送を行う医療従事者は、マスク着用の必要はない。(ⅢA)
- 3 接触感染予防策
  - 3.1 多剤耐性菌の保菌または感染の患者には、接触感染予防策を適応する。
  - 3.2 患者配置
    - 3.2.1 個室管理とする。<sup>142</sup>(ⅡA)
    - 3.2.2 個室が不足する場合は、病原体ごとにコホート隔離する。<sup>141</sup>(ⅢA)
    - 3.2.3 コホート隔離を行う時は、ベッド間は 1m 以上空け、伝播を最小限にするためにカーテンで仕切り、患者間の移動の際は、手指衛生を徹底する。(ⅢA)
  - 3.3 手指衛生と手袋
    - 3.3.1 病室入室時には手指消毒後に手袋を装着し、退室時には手袋を外し手指消毒する。<sup>143</sup>(ⅠA)
  - 3.4 ガウン
    - 3.4.1 着衣が患者と直接接触するか、環境表面に触れることにより着衣の汚染が予測される時には、ガウンを着用した方が良い。<sup>144</sup>(ⅢB)
    - 3.4.2 退室時にはガウンを脱いで手指消毒を行う。(ⅢA)
  - 3.5 病院内における患者移送
    - 3.5.1 医療上必要時以外患者移送を制限する。(ⅢA)
    - 3.5.2 患者を移送する場合は、患者の感染または保菌している場所を覆う。(ⅢA)
    - 3.5.3 患者移送を行う医療従事者は、移送の前に接触感染予防策で使用した手袋とガウンを外し、手指消毒を実施する。(ⅢA)
    - 3.5.4 患者移送を行う医療従事者は新しい手袋とガウンを着用する。(ⅢA)
  - 3.6 環境表面
    - 3.6.1 病室内の日常清掃では、モップヘッドを病室ごとに交換する。(ⅢA)
    - 3.6.2 病室内のカーテンは、患者ごとに交換する。(ⅢA)

表:感染症及び病態別予防対策のタイプと期間